一般社団法人日本建設業連合会
JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS

日建連建築ＩＴ：情報セキュリティeラーニング　2015年2月

■ **操作方法**

・質問に回答し、**下方にある「次へ」ボタン**を選択して解説ページに進んでください
・解説ページの、下方にある「次へ」ボタンを選択して順次学習を進めてください
・最終ページでは「**完了」ボタンを選択して終了**し、ページを閉じてください

■ **問題は5問です**

問１：私有情報機器（パソコン、ＵＳＢメモリ等）の取扱いについて
問２：情報機器、書類等の盗難・紛失対策について
問３：ソフトウェア、クラウドサービス利用について
問４：ウィルス対策について
問５：電子メールの誤送信対策について

一般社団法人日本建設業連合会
JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS

日建連建築ＩＴ：情報セキュリティeラーニング　2015年2月

問１：私有情報機器（パソコン、ＵＳＢメモリ等）の取扱いについて

＊私有情報機器の取扱いで正しいのはどれですか

- ○ １．自宅で仕事をするため、データをＵＳＢメモリにコピーして持ち帰った
- ○ ２．自宅のパソコンを持ち込み、現場のネットワークに接続した
- ○ ３．自分で買ったスマートフォンは業務に使用しない

問１：解説

正解：３．自分で買ったスマートフォンは業務に使用しない

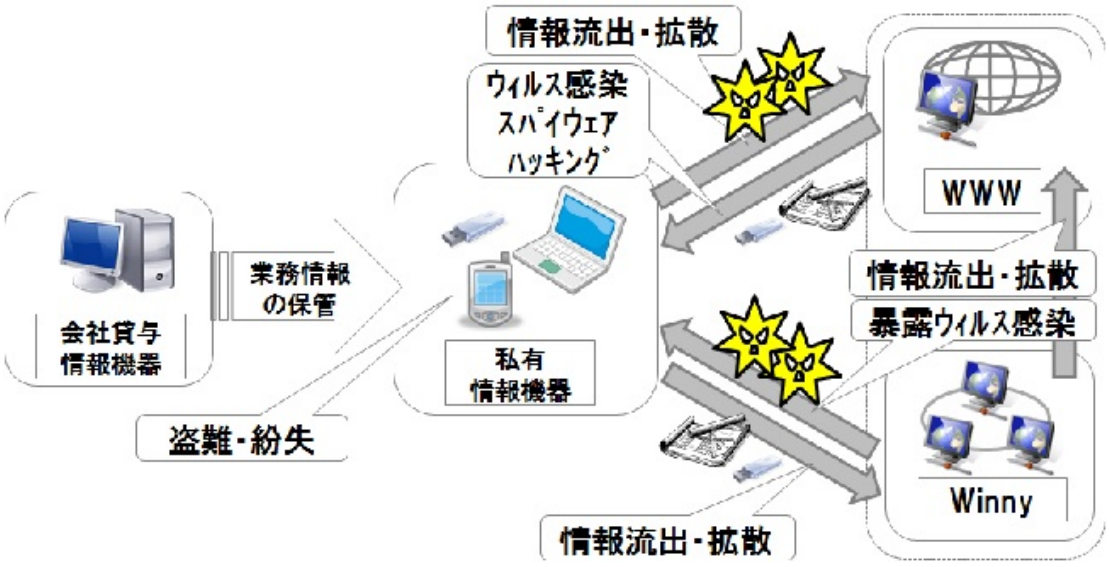
スマートフォンは手軽に利用できますが、パソコンと同様に情報セキュリティ対策が必要で
す。必ず、会社から貸与されたものを使用してください。

誤り：１．自宅で仕事をするため、データをＵＳＢメモリにコピーして持ち帰った

自宅のパソコンや私有パソコンはセキュリティ対策が不十分になりがちです。業務には使用
しないでください。

誤り：２．自宅のパソコンを持ち込み、現場のネットワークに接続した

自宅のパソコンや私有パソコンを現場のネットワークに接続すると、そのパソコンが原因で
情報漏えいすることがあります。また、セキュリティ対策が不十分だと、ウイルスなどを持
ち込むかもしれません。私有機器は、現場のネットワークに接続しないでください。



一般社団法人日本建設業連合会
JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS

日建連建築ＩＴ：情報セキュリティeラーニング　2015年2月

問２：情報機器、書類等の盗難・紛失対策について

＊盗難、紛失を防ぐ対策として正しいのはどれですか

- ○ １．会社から貸与されたノートパソコンを車に置いたまま、食事のためにレストランに入った
- ○ ２．データを持ち歩くときは万一の紛失に備え、暗号化機能の付いたＵＳＢメモリを使用している
- ○ ３．図面を入れた鞄を網棚に載せた

問２：解説

正解：２．データを持ち歩くときは万一の紛失に備え、暗号化機能の付いたＵＳＢメモリを使用している

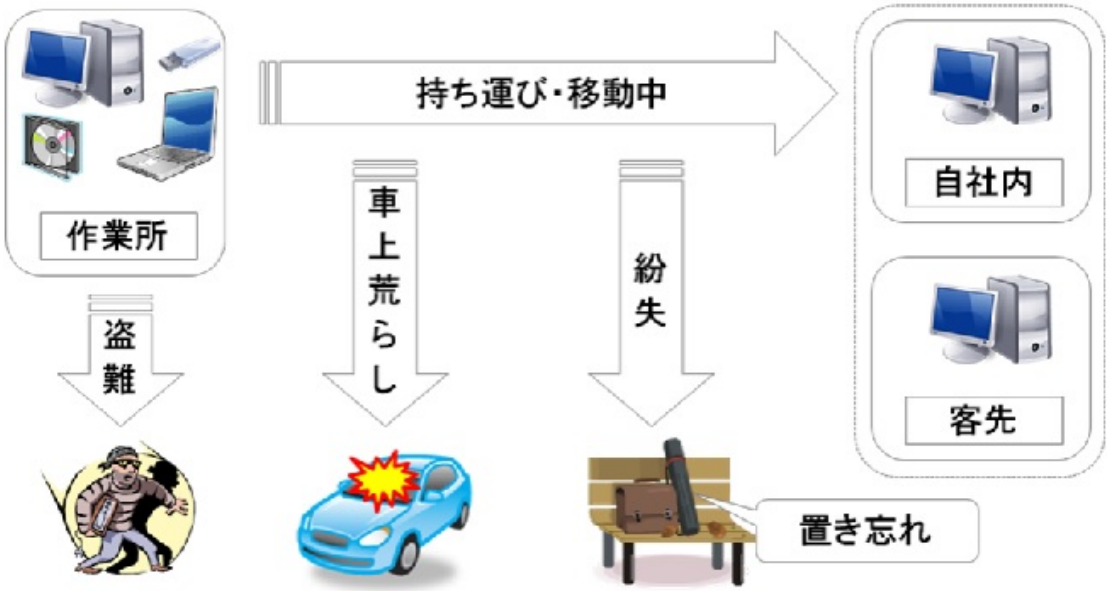
　データはできるだけ持ち歩かないのが望ましいですが、やむを得ず持ち歩くとき、データ
　を暗号化しておけば、万一、紛失した場合も情報漏えいを防げます。

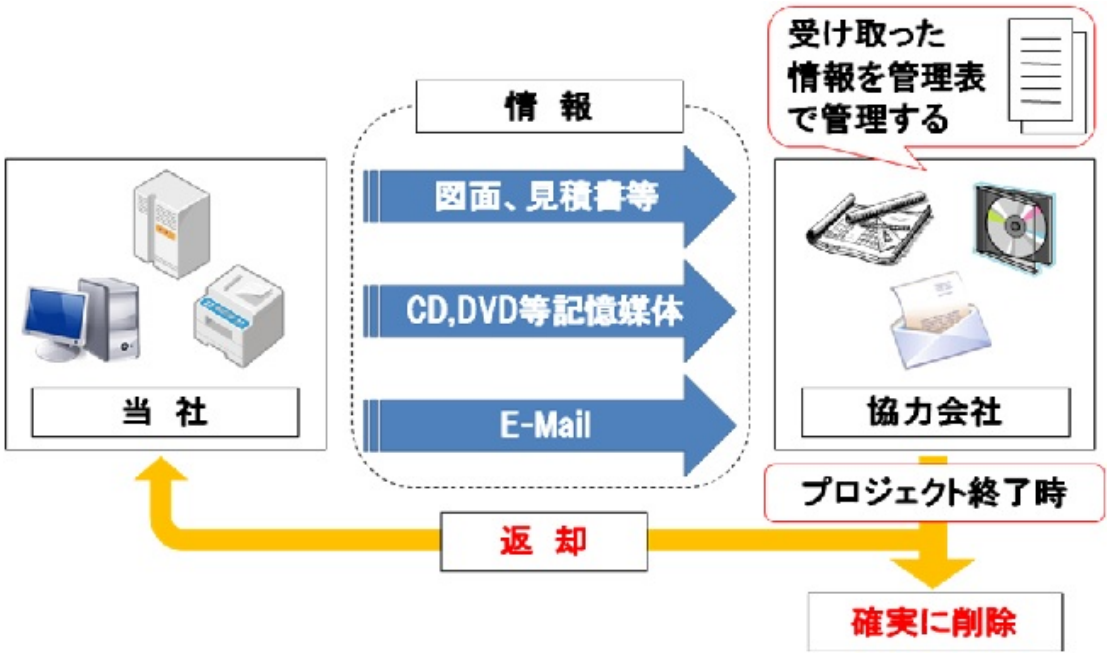
誤り：１．会社から貸与されたノートパソコンを車に置いたまま、食事のためにレストランに入った

　車上荒らしにあう可能性があります。短時間であっても持ち歩くようにしてください。

誤り：３．図面を入れた鞄を電車の網棚に載せた

　鞄を置き忘れる可能性があります。また、目を離したた隙に誰かが持っていってしまうか
　もしれません。重要な書類が入った鞄は手元に置くようにしてください。




受け取った
情報を管理表
で管理する
情　報
図面、見積書等
CD,DVD等記憶媒体
E-Mail
当　社
協力会社
プロジェクト終了時
返　却
確実に削除

一般社団法人日本建設業連合会
JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS

日建連建築ＩＴ：情報セキュリティeラーニング　2015年2月

問３：ソフトウェア、クラウドサービス利用について

＊ソフトウエアの使用について正しいものはどれですか

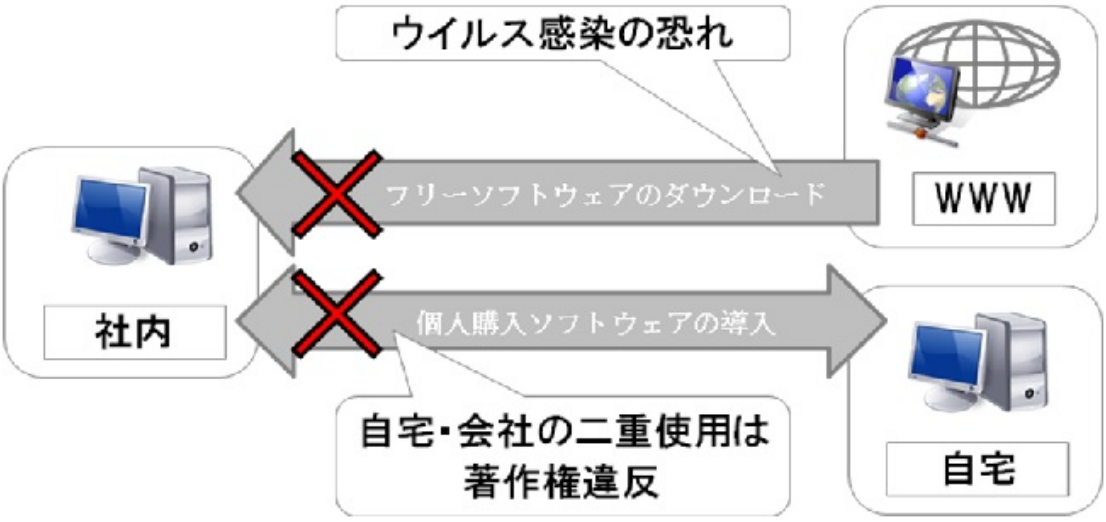
- １．業務に必要なソフトウエアを会社の許可を得て購入し、インストールした
- ２．面白そうなフリーソフトを見つけたのでインストールした
- ３．隣の社員が使っているソフトのＣＤＲＯＭを借りて、会社の許可を得ずに自分のパソコンにインストールした

問３：解説

正解：１．業務に必要なソフトウエアを会社の許可を得て購入し、インストールした
　必要なソフトウエアは、会社の指示に従ってインストールしてください。

誤り：２．面白そうなフリーソフトを見つけたのでインストールした。
　個人情報や機密データをハッカーに送り続けるウィルス（スパイウェア）をソフトウェア
　の中に潜ませているものがあります。フリーソフトをインストールする前に、会社に確認
　してください。

誤り：３．隣の社員が使っているソフトのＣＤＲＯＭを借りて、会社の許可を得ずに自分のパソ
**　コンにインストールした**
　違法コピーになる可能性があります。会社に確認してからインストールしてください。



一般社団法人日本建設業連合会
JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS

日建連建築ＩＴ：情報セキュリティeラーニング　2015年2月

問４：ウィルス対策について

＊ウイルス対策について正しい対応はどれですか

- ○ １．業務に関係する必要最低限なホームページしか参照しないようにしている
- ○ ２．Windowsアップデートの通知が届いたが、長らく更新していない
- ○ ３．届いたメールは全て見るようにしている

問４：解説

正解：１．業務に関係する必要最低限なホームページしか参照しないようにしている

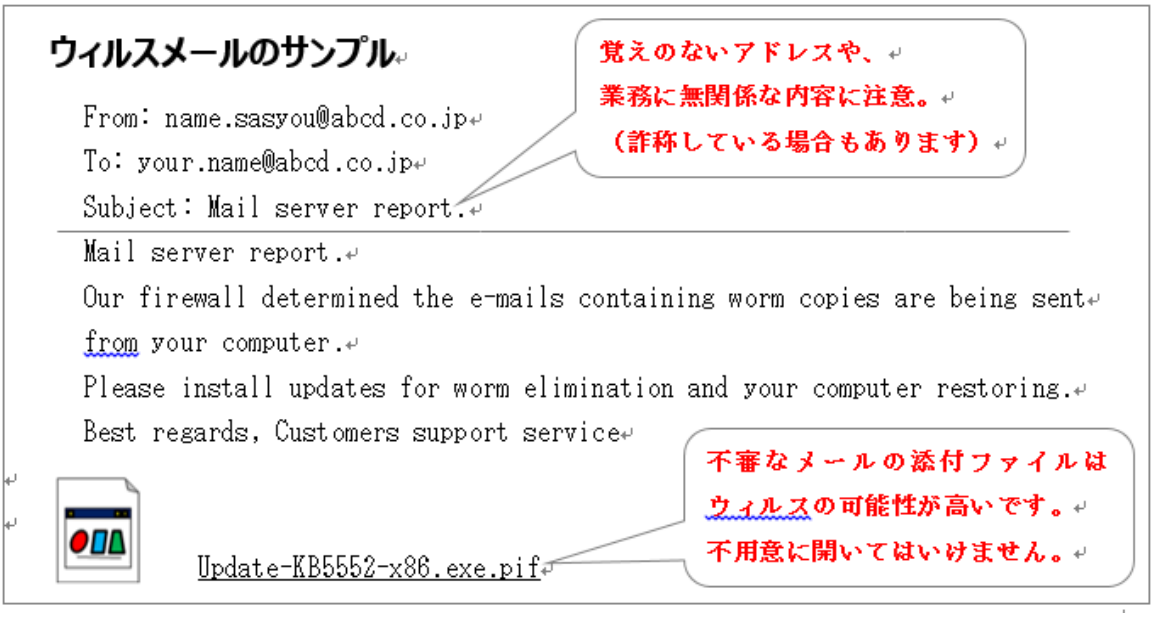
ホームページを見ることでウイルスに感染することがあります。業務に関係のないホーム
ページは見ないようにしてください。

誤り：２．Windowsアップデートの通知が届いたが、長らく更新していない

ウイルスはWindowsの脆弱性（ソフトウエアの欠陥や弱点）を利用して感染するものがあ
ります。Windowsを最新にすることにより、ウイルス感染のリスクを小さくすることがで
きます。

誤り：3.届いたメールは全て見るようにしている

メールを見たり、添付ファイルを開くことによって感染するウイルスもあります。不審な
メールは読まずに削除してください。また、不審な添付ファイルにも注意が必要です。よ
くわからないときは、送信者に電話で確認することも必要です。



一般社団法人日本建設業連合会
JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS

日建連建築ＩＴ：情報セキュリティeラーニング　2015年2月

問５：電子メールの誤送信対策について

＊電子メールの誤送信による情報漏えいを防ぐための対策として、正しいものはどれでしょうか

- ○ １．ウィルス対策ソフトを導入し、最新の状態で常時起動しておく
- ○ ２．内容を添付ファイルに記載して電子メールを送信する
- ○ ３．送信前に必ず送信先アドレスの確認を行う

問５：解説

正解：３．送信前に必ず送信先アドレスの確認を行う

送信前には、必ず送信先アドレスを確認しましょう。

誤り：１．ウィルス対策ソフトを導入し、最新の状態で常時起動しておく

ウィルス対策ソフトは、主にメールの本文や、添付されているファイルの中味についてウィルスチェックするものです。その用途では有効ですが、電子メールの誤送信による情報漏えいを防ぐことはできません。

誤り：２．内容を添付ファイルに記載して電子メールを送信する

添付ファイルを暗号化して送信しておけば、誤送信した時でも添付ファイルを開けなくすることはできます。パスワード通知送信までの間にも、必ず送信先アドレスの確認をしましょう。

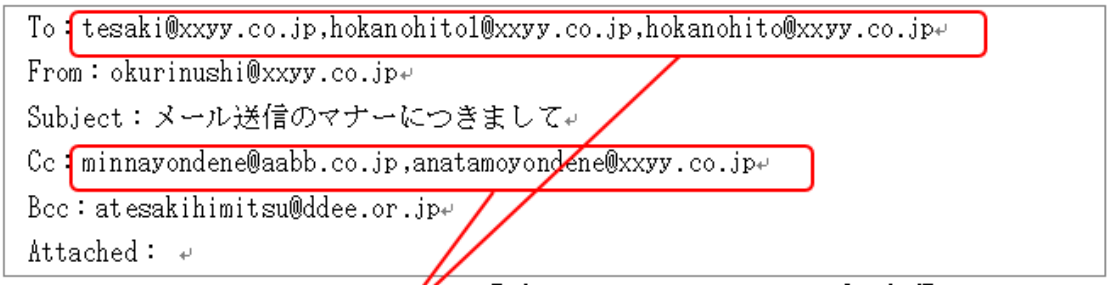
●誤送信は、情報漏えいと同じです

① 誤送信は悪意があろうとなかろうと、社会的には情報漏えいと言えます。送信前にもう一度送信先アドレスや添付ファイル等を間違えていないか確認します。

② 電子メールの宛先にも注意を払う必要があります。

- 「Ｔｏ」　：メインの宛先（受信者には誰が受信したか分かります）
- 「Ｃｃ」　：その他の宛先（受信者には誰が受信したか分かります）
- 「Ｂｃｃ」：見えない宛先（他の誰が受信したか隠すことができます）

メールアドレスも時には個人情報になるので、知られてよいのか否かを、考えて送らなければなりません。



【電子メールのアドレス入力画面】

電子メールの受信者は、**他の人**にもメールが送信されたことが分かりますが、Bcc にアドレスが入力してある人については分かりません。

お疲れ様でした。パソコンを安全に活用しましょう。